

女性のためのコミュニティ施設運営により、消費者と商店街の連携が促進

小田原商工会議所

機関名	小田原商工会議所		
所在地	神奈川県小田原市城内1-21		
電話番号	0465-23-1811		
地域概要	(1)管内人口 198千人	(2)管内商店街数 36商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1	(2)会員数 60商店	
	(3)空店舗率 5%	(4)大型店空き店舗数 0	
	お堀端商店街振興組合		
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（高齢者等交流施設）
 ・女性団体の相互交流スペースの設置
 総事業費 5,999千円

【事業実施内容】

1. 背景

小田原市は神奈川県南西部に位置し、東海道の旧宿場町として知られている。市の南西部は箱根連山につながる山地で、東部は曾我丘陵と呼ばれる丘陵地帯である。市の中央を酒匂川が南北に流れて足柄平野を形成し、南部は相模湾に面している。

鉄道5路線が集中する小田原駅周辺に、近隣都市を商圏とする商業が古くから集積する一方、全国的な生活拠点の郊外化の波に漏れず、鴨宮を中心とした川東地区に複数の郊外型大規模ショッピング施設ができ、商圏の二極化が進んでいる。

中心市街地の活力低下や空洞化に歯止めをかけるため、平成15年度に商店街の空き店舗を活用した「おだわら女性プラザ」を設置した。周辺商店街及び女性団体の活動や交流拠点であるとともに、市民や観光客が気軽に立ち寄り、心地よく過ごせるコミュニティスペースとした。平成16年度は、「おだわら女性プラザ」の利用者であり消費の主役である女性と商店街の連携事業をさらに促進させ、商店街の活性化に向けた以下の事業を行った。



小田原市の位置
 (小田原市商店街連合会のHPより)

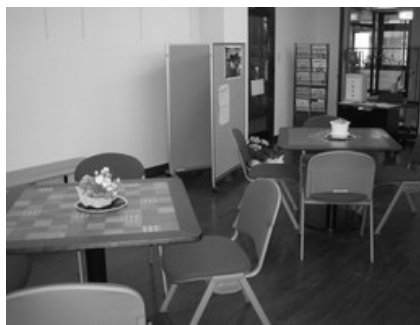
2. 事業内容

「おだわら女性プラザ」では、施設の利用者である女性に、周辺商店街を「見て」「歩いて」「感じて」もらい、商店街を利用する側の率直な意見を商業者にフィードバックする一方、商品のPRや購入に繋がる消費者と商業者との連携事業を実施した。

(1) 施設概要

お堀端商店街において、適度なスペースがありエレベーターを完備した空き店舗の2階で、コミュニティ施設を運営した。

- ・施設名称：おだわら女性プラザ
- ・所在地：小田原市栄町1-14-41 音羽プラザビル2階
- ・規模：66㎡（約20坪）
- ・開館時間：11:00～19:00（年末年始を除き年中無休）
- ・施設内容：談話・作業・展示スペース、トイレ、授乳室、パソコン設置



「おだわら女性プラザ」の様子

(2) 各種イベント等の実施

①商店街体験ツアー（11月15日、22日）

消費者モニターが、中心市街地の11の店舗を訪問した。店主との対話を通じ、消費者の視点から様々な角度で店舗を見て回った。最終的に消費者の意見を取りまとめ、評価すべき点や改善すべき点を個店にフィードバックした。

②商業者による講座

中心市街地で長く経営している店主が、こだわりの品の選び方やそれぞれの技術・ノウハウを消費者に教える講座を開催し、好評を博した。全4回実施。

日時	講師	テーマ
11月18日14:00～	(株)江島	おいしいお茶の選び方、飲み方
12月16日14:00～	(有)角田がぐち店	センスのある絵画、画材の選び方
1月20日14:00～	(株)伊東屋	化粧品のウ、ホト！あなたの肌は？
2月17日14:00～	(有)光輝堂	カメラの上手な使い方

③一周年記念フェスタの実施（1月26日～29日）

施設オープン一周年を祝うフェスタを実施した。女性指向を打ち出したイベントを実施し、様々な講話や体験参加型の講習会、展示やミニコンサートを行った。イベント開催時には、中心市街地に幅広い年齢層の女性が集客し、華やかな賑わいとなった。

日	時間	主催	内容
1月26日	13:30～	ヒルトン小田原リゾート&スパ	講演会 「生活の中で失われたものを取り戻そう」
	16:00～	小田原奇術クラブ	マジック体験講座 「あなたもマジシャン！」
1月27日	10:30～	個人（アロマセラピスト）	体験講座「アロマセラピー初級講座」
	10:30～	リサイクルネットワーク	リサイクル小物作り
	14:00～	個人（活弁士）	ミニミニ映画会 「活弁ライブで観るチャップリン作品集」
1月28日	10:30～	個人	体験講座 「クレイアート体験講座」
	10:30～	ちえのわハウス	展示 「オーガニック食品・フェアトレード製品」
	14:00～	日本道路公団	講座「西さがみの道物語～明治から現代まで、路の歴史を訪ねて～」
1月29日	11:00～	おだわら輝く女性のネットワーク	女性団体自主講座 「女性の目で見た年金の学習会」
	14:00～	小田原朗読ボランティア もくせい会	女性団体自主講座 「もくせい会 朗読」
	15:00～	個人	ミニ音楽会 「オカリナ演奏会」

④女性団体等によるイベント

女性団体を中心とした様々な団体やグループが定期的に会合を開催し、講座や講演会、展示会など活動発表の場として施設を用いた。平成16年度は計47団体が、延べ119回利用した。

(3) 利用状況

「おだわら女性プラザ」の利用状況については、以下の通りである。1月の利用者数の中で、「一周年記念フェスタ」を開催した1月26日から29日の4日間の利用者数は、284人であった。

利用延べ人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計	15年度
女性	191	162	155	259	301	228	128	260	301	388	293	2,666	810
男性	28	26	21	18	52	75	47	90	73	48	125	603	169
合計	219	188	176	277	353	303	175	350	374	436	418	3,269	979

※平成15年度については、1月から3月分の集計

【 効 果 】

1. 来街者の行動

女性団体の相互交流や情報発信の拠点、さらにイベント・展示会などの貸しスペースとして、多くの団体や市民が施設を利用し、来街者が増加した。特にイベント開催時は、来街者・商店街利用者数ともに増加しており、お堀端商店街に活気が溢れた。

2. 近隣個店への波及

「おだわら女性プラザ」を拠点に、消費者モニターが各店舗を訪問してお店の強みと弱みを取りまとめる「商店街体験ツアー」を実施したところ、消費者の生の声を店主に届けることができ、今後の店舗の在り方を提案することができた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・PR

「商業者による講座」を年に4回実施したが、事前にタウン誌等で案内したにも関わらず、受講者の集まりが良くなかった。PR不足に加え駐車場が無いなど、利用者にとって施設に足を運びにくい点が課題として明確になった。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

行政やTMOだけではなく、地域の人を巻き込んだ事業展開が大切である。時には地元から資金を出してもらうなど、責任分配も必要である。そうでなければ行政やTMOの一人歩きの事業となる可能性がある。

【 関 連 U R L 】

小田原商工会議所 <http://www.odawara-cci.or.jp/>